

大会論文作成要項

大会実行委員会

論文の作成については、以下の要領で、ワープロで作成すること。原稿をそのまま写真製版するため、文字数、レイアウト等は、原稿様式にできるだけ合わせる。A4の原稿とその写し2部を指定の期日までにGISA事務局へ提出すること。

- 原稿様式：**
- (1) 用紙はA4サイズ (210mm×297mm)、縦長で横書きとする。
 - (2) ページ数は原則として4ページにおさめる。
 - (3) ページレイアウトは、上 30mm、下 25mm、左右 20mm の余白をとる。
 - (4) 段組は2段組とし、段間を10mmとる。
 - (5) タイトル文字の大きさは、14ポイントとする。本文、その他は、10から11ポイントとする。
 - (6) 文字数は1行あたり22～23文字とし、上下の余白を考慮して38～40行 (英文は44～46行) とする。
 - (7) カラーページの場合は、有料となる。

- 記載事項：**
- (1) 次頁の書式のように和文の題名の下に著者の和文名、次に英文の題名の下に著者の英文名を記入すること。題名と著者名はそれぞれ行の中央に位置するようにすること。題名と著者名の間は最低1行あける。著者の和文名と英文の題名の間は最低2行あけること。なお、著者英文名の場合ファミリー名のスペルは全て大文字にする。
 - (2) 単独著者及び共著の場合は、第1著者 (または、論文内容について問い合わせができる者) については、著者の姓、連絡先 (住所、所属機関名、電話、FAX、e-mail等) を1頁目の本文の最後の行の次行に記入する。本文に**仕切線**を入れて記入する：(次頁の書式参照)
 - (3) Abstractは本文が和文のときは英文、本文が英文のときは和文とし、著者英文名から2行あけて書き出すこと。文章は8～10行以内に収まるようにする。
 - (4) KeywordsはAbstractから1行あけて書き出すこと。語彙は3～5語とし、各語とも日本語の後に括弧内に入れて英語を併記すること。
 - (5) 本文の書き出しは、Keywordsの行と最低3行あけてからはじめる。内容については、節分けをする場合、1. はじめに、…、N. おわりに、謝辞、参考文献のようにすること。各節の間は1行程度のスペースを入れて、読みやすくすること。なお、項をたてる場合には、1.1. 1.2. …のようにし、さらに分ける場合には、1.1.1. 1.1.2. …のようにする。
 - (6) 本文の句読点には、ピリオド (.) とカンマ (,) を使用すること。
 - (7) 図・表については適切な場所に配置すること。図のタイトルは、図と切り離して図の下に記入する。表の番号とタイトルは、表と切り離して、表の上に記入する。
 - (8) 原稿用紙には、ページを記入しない。
 - (9) 参考文献の記入の仕方
 - ・ 和洋文献が混在している場合は、和文献を先にまとめ、著者・編者を「あいうえお」順に並べる。次に洋文献を同じく、著者・編者を「アルファベット」順に並べる。各文献の最後はピリオド (.) でとじる。
 - ・ 和文献の例
 - 例1. 著者1・著者2・… (19××) 文献名, 「出典名」, 巻 (号), 頁. <雑誌の場合>
 - 例2. 著者1・著者2・… (19××) 『書籍名』, [頁], 出版社. <単行本の場合>
 - 例3. 著者1・著者2・…編 (19××) 『出典名』, [頁], 出版社. <単行本の場合>
 - * 著者・編者・訳者は姓・名を記入する。
 - * 例2で編集者がいれば、書籍名の後に「編者名 (編)」を追加記入する。
 - * 訳者の場合は例3と同じ形式となる。* [] の頁は省略可能である。
 - ・ 洋文献の例
 - 例1. author1, author2... (19xx) 文献名, 出典名, Vol. #: No. #, pp. ##-##.
 - 例2. author1, author2... (19xx) 文献名, in書籍名, ed(s). editor1, (editor2), (...), 出版地: 出版社.

例3. author1. author2... (19xx) 書籍名, 出版地: 出版社.

例4. editor1. editor2... eds. (19xx) 出典名, 出版地: 出版社.

- * 例1. のVol.No.pp. は記入せずに数 (#) だけを記入する. [例. 4, 1, 19-26. 又は4(1), 19-26.]
- * 出典名や書籍名は, 太字が斜体にする.
- * 例3で編者がいれば, 例2のように書籍名の後に, ed(s). と編者名を記入する.
- * カンマ (,) の後は半角のスペースを置く. 各文献の最後にピリオドを入れる.
- * 出版していない文献や出版予定の文献は, unpublishedかto be appeared とかを書籍名の後に括弧内に入れて表記する.
- * 著者・編者の記入法は, 姓 (Family name) の後にカンマを入れて半角スペースを入れ, 次に1st nameの頭文字1字記入 (Middle nameがある場合はその後に頭文字の1字を記入) する. 例. Kennedy.J.F.. (1944).

(10) 本文中に参考文献を引用または注として記述する場合

- 例1. 引用する場合: . . . ○○・○○ (19xx) によると, . . .
- 例2. 注として記入: . . . と証明されている (○○・○○, 19xx). ○○は著者の姓を表す.
- 例3. 著者が4名以上で例1の場合: . . . △△ほか (19xx) によると. . . △△は第1著者の姓.
- 例4. 著者が4名以上で例2の場合: . . . と証明されている (△△ほか, 19xx)
- 例5. 英文で4名以上の場合, 例3, 例4にあるほかの文字を半角空けてet al. の文字に変える.
- 例6. 1ヶ所で同一の著者の文献を引用する場合: . . . と証明されている (○○, 19xx, 19yy)
- 例7. 1ヶ所で複数の著者の文献を引用する場合: . . . と証明されている (○○, 19xx; △△, 19yy)

書式:

1頁目

2頁目以降

